

令和8年度 第1回 富塚小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和8年4月28日（火） 13時30分～15時40分
- 2 開催場所 富塚小学校 会議室
- 3 出席委員 花島 宗一郎、久保田 智彦、中野 聡彦、今井 増穂、高貝 順子、神村 浩子
鈴木 敦子
- 4 欠席委員 甲斐 進一、鈴木佐知
- 5 オブザーバー 関 イチロー（地域代表・市議会議員）、柴田 功洋（富塚協働センター）
小楠 佳子（地域代表）、萩原 孝英（地域代表）
- 6 学 校 勝亦 英彦（校長）、古宮 康子（教頭）、辻村 恵一（教務主任）、
新田 久美子（CSディレクター）
- 7 傍 聴 者 なし
- 8 会議録作成者 CSディレクター 新田 久美子
- 9 会長の選出及び副会長の指名

司会から、会長の選出について委員に意見を求めたところ、久保田委員から花島委員を会長に推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。また、その後会長に選任された花島委員から、久保田委員を副会長に指名する旨の報告があった。

10 議長の選出

司会から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、久保田委員が、本日の議長を務めることを申し出、全員異議なくこれを承認した。

11 協議事項

- (1) 今年度の学校運営基本方針について
- (2) いじめ防止等のための基本的な方針について
- (3) 学校運営協議会の自己評価について
- (4) 夢育やらまいか事業に対する意見書について

12 会議記録

司会から、委員総数9人のうち8人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

(1) 今年度の学校運営基本方針について

議長の指示により、校長から、資料に基づき今年度の学校運営基本方針について説明があり、委員からは以下の発言があった。

- ・地域が協力したくなる学校という話が出ていたが、私たち委員も学校に協力したいという気持ちを

もって1年間取り組んでいきたいと思う。いじめについては、見守りが必要となった児童にはしっかりと指導をしていただきたい。(久保田委員)

- ・居場所の確保というところで、教室以外の場所にいるということがあるようだが、それがかえっていじめの対象になってしまうことはないのか。(中野委員)

→きっかけになるということはないと思うが、いじめはいつでもどこでも起きるものなので、未然に防止することが一番重要だと考えている。本校ではグッドルームと呼んでいるが、その部屋については保護者、児童と意思の確認をしながら最善の方法で使えるよう考えていきたい。(校長)

- ・授業参観をしている時、教室がとても暑く感じた。それが気になったのだが、子供たちの集中度合いはどうか。(鈴木敦子委員)

→冷房と暖房の切り替えは学校で自由にできるわけではなく業者が行うことになっている。そのため5月14日以降しか冷房が使えない。今日のように蒸し暑い日もあるが、教室では扇風機を回すなどの対応している。子供達は暑い中でもとても頑張っている。4月のこの時期に新しい環境の中で、落ち着いて取り組んでいると思う。(教頭)

協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

(2) いじめ防止等のための基本的な方針について

議長の指示により、校長から、資料に基づきいじめ防止等のための基本的な方針について説明があり、委員からは以下の発言があった。

- ・公園の向かいに住んでいるので、そこに集まっている子供達の話や話を聞くことがある。その中で学校でも家庭でも話していないことを話してくれることがある。話してくれた子のことを尊重すると学校には伝えない方がよいと思うが、地域の役割としてどのような見守りをするのがよいかと考えている。(鈴木敦子委員)

→内緒にしておくね、ということになるとそれで終わってしまうので、お母さんや学校の先生に相談した方がいいよ、と伝えてもらうのがよいと思う。(校長)

→学校での問題は学校に言った方がいいよと話すが、家庭内の問題の場合は難しい。地域だからできることがあるのではないかと。何かよい方法があればと思っている。(鈴木敦子委員)

- ・うちでは食事の時などに子供と会話をし、友達の話など聞くようにしているが、ある時人間関係の悩みを抱えていたことが後になって分かったということがあった。子供の姿は家庭で見せる顔、学校で見せる顔などそれぞれで違うということがあるのだと思った。(高貝委員)

(3) 学校運営協議会の自己評価について

議長の指示により、教頭から、資料に基づき学校運営協議会の自己評価について説明があった。

(4) 夢育やらまいか事業に対する意見書について

議長の指示により、教頭から、資料に基づき夢育やらまいか事業に対する意見書について説明があった。

報告

学校支援コーディネーターより活動報告があった。

- ・ 4月に入って学校支援ボランティアの募集を行った。保護者22名、地域から9名の応募があった。
- ・ ロング昼休みの見守りボランティアについては、中止や日程変更があった場合の対応の方法が決まってから募集を始めたいと考えている。
 - 雨の日などグラウンドが使えない日は、ボランティアを中止とするのではなく、廊下を歩くだけでも見守りになるのではないかと。名札やたすきなど目印となるものを身に付けて見回るとよいと思う。(神村委員)
 - それはとてもありがたい。雨などで運動場が使えない日は、子供たちのいるところが教室や図書室などになり担任だけでは目が行き届かない。見守りをしていただけるととても助かる。検討したい。(教頭)

オブザーバーからは以下の発言があった。

- ・ いじめや不登校は毎年右肩上がりに増えている。いじめへの対応において、校内いじめ対策委員会という組織自体がフラットであるかということは非常に大事だと思う。学校では上の先生の判断が優先してしまうということもあるようだ。また初動において十分なコミュニケーションが取れているかということも重要だと感じる。いじめへの対応はとても難しい。個人的にはあまり早めに手を出さず、ある程度は子供に任せて、解決する能力を育ませることも大切なのではないかと考えている。(関さん)
- ・ 以前、地域の子供がいじめにあっているという話が入ってきたことがあった。その時私は、教頭先生と養護の先生に時間を取ってもらい、話をして対応していただいた。つかず離れず、地域のどこかで誰かが見守るといっていただければよいのではないかと。思う。(小楠さん)
- ・ 協働センターでは今年度もイベントや子供講座を計画している。子供たちが楽しく参加できる居場所づくりができればよいと思う。学校とは連携を密にしながら協力体制でやっていきたい。(富塚協働センター 柴田所長)
- ・ 昨年まで委員をやっていて、いろいろな事象の話が出た時、自分の小学校時代はどうだったか、あの時こうだったからこうしたらどうかと考えるようにしていた。しかし60年も経つと環境は変わってくる。その時代に合った対処法をみなさんで知恵を出しあって考え、対応していけるとよいと思う。(萩原さん)

その他の報告事項等

司会から、次回会議は、令和8年7月4日(金)14時00分から富塚小学校会議室で開催する旨の報告があった。